

- 問1 日本の製造業がインドに進出する際、特に顕著な動きが見られる産業分野と、その進出の実態について説明したものとして正しいものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. インドの伝統的な綿織物工業を保護するため、日本の繊維メーカーは進出せず、技術提供のみを行っている。 | 2. 日本の自動車産業などの外国企業が、インド国内に生産拠点を展開し、現地での販売や輸出を拡大している。 | 3. インド政府による外国企業の参入禁止措置により、日本企業は現地に工場を建てることが一切できない状況にある。 | 4. 日本の農業法人が、インドの広大な土地を利用して、主食である小麦の栽培と日本への全量輸出を行っている。 |
|--|--|---|---|
- 問2 アジアの農業について説明した次の文章のうち、二期作の内容として適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 同じ土地で同じ作物を続けて栽培せず、年ごとに栽培する作物を変えること。 | 2. 同じ農地において、時期をずらし、稲と麦など異なる作物を栽培すること。 | 3. 同じ農地において、温暖な気候を利用して年に2回、稲を栽培すること。 | 4. ビニールハウスなどの施設を利用して、作物の成長を早めて出荷すること。 |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問3 東南アジアのタイにおける自動車工業の特色について、工場の進出状況と主な輸出先を組み合わせた説明として正しいものはどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日系企業を中心とした工場が集中しており、ASEAN諸国など近隣のアジア市場を中心に輸出している | 2. タイの地元資本による企業が中心であり、政府の保護政策のもとで国内市場向けに生産している | 3. アメリカ系企業が主に進出しており、北米自由貿易協定を利用してアメリカやカナダへ輸出している | 4. ヨーロッパ系企業が内陸部に工場を建設しており、陸路を利用して中国やインドへ輸出している |
|--|--|--|--|
- 問4 カリマンタン島（ボルネオ島）の北部に位置し、石油や天然ガスの輸出によって豊かな経済を実現しているブルネイについて、この国が加盟している地域協力組織と地理的背景の説明として適切なものはどれか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. APEC（アジア太平洋経済協力会議）のみに所属し、島国であるため他国と国境は接していない。 | 2. ASEAN（東南アジア諸国連合）に加盟しており、陸上ではマレーシアと接している。 | 3. EU（欧州連合）と経済連携を結んでおり、フィリピンの南側に隣接している。 | 4. NAFTA（北米自由貿易協定）をモデルとした組織を作り、インドネシアと経済を統合している。 |
|--|---|---|--|
- 問5 東アジアの諸国の中で、2020年代の統計においてインターネット利用者率が約97%ときわめて高く、主な輸出商品に機械類や自動車が含まれ、かつ輸出入のいずれにおいても中国が最大の貿易相手国となっている国はどこか、名称を答えなさい。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|------------|---------|
| 1. インド | 2. メキシコ | 3. オーストラリア | 4. 大韓民国 |
|--------|---------|------------|---------|
- 問6 世界の一次エネルギー消費に関する統計において、1990年には全体の約2割であったアジア諸国の割合は、2012年には中国が22%、インドが6%、その他のアジア諸国が6%となりました。これらの数値を合計したとき、アジア諸国が世界のエネルギー消費全体に占める割合として、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 約2分の1 | 2. 約3分の1 | 3. 約4分の1 | 4. 約3分の2 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問7 西アジア地域の自然環境や産業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 北極点に近い高緯度地域であるため、一年中氷に覆われた寒冷な気候を利用した水産業が中心である。 | 2. 大部分が乾燥帯に属して砂漠や草原が広がっており、石油などのエネルギー資源が豊富に産出される。 | 3. 多くの島々からなる地域であり、熱帯雨林気候を活かした天然ゴムやバナナのプランテーション農業が行われている。 | 4. 季節風（モンスーン）の影響を強く受けるため、年間を通じて降水量が多く、古くから稲作が盛んである。 |
|---|---|--|---|
- 問8 モンゴルの草原では、伝統的に「ゲル」と呼ばれる白い円形の移動式住居が使用されています。この住居が、簡単に組み立てや解体ができる構造になっている理由として最も適切なものはどれですか。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|--|
| 1. 森林資源が豊富なため、周囲にある大量の木材を使い捨てにしながら移動するため。 | 2. 砂漠化を防ぐために、政府によって同じ場所に3日以上滞在することが禁じられているため。 | 3. 永久凍土の層が厚いため、地面を掘って基礎を築くことができないため。 | 4. 家畜の餌となる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活する必要があるため。 |
|---|---|--------------------------------------|--|
- 問9 アジアの諸地域のうち、タイ、インドネシア、ベトナムなどの国々が含まれる地域に該当するものを次の中から選びなさい。 (2021年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|---------|
| 1. 東アジア | 2. 東南アジア | 3. 中央アジア | 4. 南アジア |
|---------|----------|----------|---------|
- 問10 タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムなどの東南アジアの国々が、地域の経済成長や平和と安定を目的として1967年に結成した政府間の組織は何ですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|-------------|------------------|---------------------|
| 1. アジア太平洋経済協力（APEC） | 2. 欧州連合（EU） | 3. 石油輸出国機構（OPEC） | 4. 東南アジア諸国連合（ASEAN） |
|---------------------|-------------|------------------|---------------------|
- 問11 2000年から2014年にかけてのアジアにおける通信環境の変化と、その特徴について述べた文として、最も適切なものを選択してください。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 経済格差の影響により、携帯電話の契約数はヨーロッパの合計を下回ったままである。 | 2. 人口が減少に転じた影響で、2010年以降は携帯電話の契約数も減少している。 | 3. 固定電話の敷設が優先されたため、携帯電話の普及は北アメリカよりも遅れている。 | 4. 携帯電話の契約数が急増し、固定電話の契約数を大幅に上回るようになった。 |
|--|--|---|--|
- 問12 フィリピン、ノルウェー、日本の3か国の発電方法別発電量を比較した統計において、フィリピンは地熱による発電量が約104億キロワット時と、他の2か国に比べて際立って高い数値を示しています。フィリピンにおいてこのように地熱発電が盛んな理由として、最も適切な背景を選びなさい。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 氷河によって削られた急峻な地形が多く、水力を利用しやすいため | 2. 偏西風の影響を強く受ける地域であり、安定した風力が得られるため | 3. 環太平洋造山帯に属しており、国内に多くの火山が分布しているため | 4. 赤道に近い低緯度に位置し、年間を通じて日照時間が長いため |
|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
- 問13 世界の諸地域の地形に関する記述のうち、インド北部に位置する広大な高地や険しい山脈が、周辺的环境や生活に与える影響や背景として正しいものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 安定した古い地層からなるならだかな高原であり、大規模な機械化農業や牧畜が広く行われている。 | 2. 氷河による浸食によって形成された複雑な海岸線（フィヨルド）が発達しており、古くから天然の良港として利用されている。 | 3. 環太平洋造山帯の一部として火山活動が活発であり、豊富な地熱エネルギーを利用して発電が地域の主力産業となっている。 | 4. プレート衝突によって形成された標高8000mを超える山脈が、北側からの冷たい空気を遮り、南側の地域に高温多湿な気候をもたらす要因となっている。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 日本の自動車産業などの外国企業が、インド国内に生産拠点を展開し、現地での販売や輸出を拡大している。	インドの経済成長に伴い、日本の自動車メーカーなどはインド国内を重要な市場および生産拠点と捉えています。現地に工場を建設することで、輸送コストを抑えながら巨大なインド市場に製品を供給できるほか、インドを起点としてアフリカや中東などへ輸出する拠点としても活用されています。これは、インドが第一次産業中心の社会から、工業化を重視する社会へと変化していることを象徴しています。
問2	答え 3 同じ農地において、温暖な気候を利用して年に2回、稲を栽培すること。	二期作は、熱帯や亜熱帯の気候条件を背景に、主食である稲を年に2回生産して収穫量を増やす工夫です。選択肢にある「異なる作物を栽培すること」は二毛作、「成長を早めること」は促成栽培、「年ごとに作物を変えること」は輪作（クロップ・ローテーション）の説明であり、二期作とは目的や仕組みが異なります。
問3	答え 1 日系企業を中心とした工場が集中しており、ASEAN諸国など近隣のアジア市場を中心に輸出している	タイの自動車工業は、1960年代以降の日系企業の進出によって大きく発展しました。タイは「アジアのデトロイト」とも呼ばれるほどの生産能力を持ち、生産された車両はASEAN域内の関税撤廃を背景に、アジア諸国へ効率的に輸出されています。欧米系企業や地元資本ではなく、日本の自動車メーカーが生産の中心的役割を担っている点が大きな特徴です。
問4	答え 2 ASEAN（東南アジア諸国連合）に加盟しており、陸上ではマレーシアと接している。	ブルネイは東南アジアのカリマンタン島北部に位置する立憲君主制国家です。1984年にASEANに加盟しました。地理的にはマレーシアのサラワク州に周囲を囲まれる形で国境を接しており、豊富な地下資源を背景に高い所得水準を維持しています。
問5	答え 4 大韓民国	大韓民国は1970年代以降、急速な工業化を遂げてNIEs（新興工業経済地域）の一角として発展しました。現在は情報通信技術（ICT）の普及が非常に進んでおり、世界トップクラスのインターネット利用率を誇ります。産業構造としては、半導体などの電子機器を含む機械類や自動車が主要な輸出商品となっており、地理的に近く経済的結びつきが強い中国が最大の貿易相手国となっています。
問6	答え 2 約3分の1	アジア諸国、特に経済発展が著しい中国やインドなどの新興国において、エネルギー消費量が急増しています。2012年の統計では、中国（22%）、インド（6%）、その他のアジア諸国（6%）を合わせると合計で34%に達しており、1990年当時の約2割という数字から、世界の約3分の1を占める規模まで拡大したことがわかります。
問7	答え 2 大部分が乾燥帯に属して砂漠や草原が広がっており、石油などのエネルギー資源が豊富に産出される。	西アジアの大部分は降水量が少ない乾燥帯であり、オアシス農業や遊牧が伝統的に行われてきました。また、ペルシャ湾沿岸を中心に世界の原油埋蔵量の多くが集中しており、石油の輸出は地域経済において極めて重要な役割を果たしています。
問8	答え 4 家畜の餌となる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活する必要があるため。	遊牧という生活形態は、自然環境に合わせて家畜とともに移動し続けることが前提となっています。そのため、住居には「軽量であること」「短時間で解体・組み立てができること」が求められます。ゲルは木製の骨組みと家畜の毛から作ったフェルトで構成されており、遊牧民の合理的な知恵が詰まった住居といえます。
問9	答え 2 東南アジア	タイやベトナムはアジア大陸の南東部に位置し、インドネシアは数多くの島々で構成される国家です。これらの国々は、地域の経済発展や安定を目指し、ASEAN（東南アジア諸国連合）を組織して協力関係を築いています。
問10	答え 4 東南アジア諸国連合（ASEAN）	タイやフィリピンといった東南アジアの国々が、域内の経済発展や社会・文化的発展、平和と安定を目指して協力している枠組みです。近年では経済的な結びつきをより強めるために、ASEAN経済共同体（AEC）を発足させるなどの取り組みを行っています。
問11	答え 4 携帯電話の契約数が急増し、固定電話の契約数を大幅に上回るようになった。	アジアの多くの国々では、広大な土地に電線を引く必要がある固定電話よりも、基地局を設置することで広範囲をカバーできる携帯電話の普及が先行しました。この結果、2000年から2014年にかけて携帯電話の契約数は爆発的に増加し、固定電話の契約数をはるかに凌駕する状況が生まれました。
問12	答え 3 環太平洋造山帯に属しており、国内に多くの火山が分布しているため	フィリピンは日本と同様に環太平洋造山帯に位置しており、地形的な特徴として火山が非常に多く分布しています。この火山の熱エネルギーを直接利用する地熱発電は、天候に左右されず安定した電力を供給できる再生可能エネルギーとして、フィリピンの電力供給において重要な役割を果たしています。なお、選択肢にある「氷河による地形」はノルウェーなどの特徴であり、そちらでは水力発電が主流となっています。
問13	答え 4 プレートの衝突によって形成された標高8000mを超える山脈が、北側からの冷たい空気を遮り、南側の地域に高温多湿な気候をもたらす要因となっている。	ヒマラヤ山脈は、インド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートがぶつかり合う境界に位置し、現在も隆起を続けています。この非常に高い山脈が障壁となることで、インドをはじめとする南アジアにモンスーンの影響による雨をもたらす一方、山脈の北側にあるチベット高原などは乾燥した気候になるという、大規模な気候区分を決定づける要因となっています。